

土木工事共通仕様書（令和2年4月1日）新旧対照表

頁	新（令和2年4月1日一部改正）	旧（令和元年10月1日）
土木工事編 I		
目次(12)	1-12-5 鋼製伸縮継手製作工.....311	1-12-5 鋼製伸縮継手製作工.....310
P. 70-71 2-4-5 路床盛土工	<p>18. <u>受注者は、路床の最終仕上後、路床面全体にわたって、少なくとも1回、承諾を受けた荷重車（施工時に用いた転圧機械と同等以上の締固め効果を持つタイヤローラやトラック等）で、ブルーフローリングを行わなければならない。</u>たわみ量により十分な路床支持力が得られないと判断された場合は、監督員の指示により適切に処置しなければならない。なお、歩道、路肩及び取付坂路等のブルーフローリングは、監督員の承諾を得て省略することができるものとする。</p>	<p>18. <u>路床最終仕上後、全幅、全区間について、施工時に用いた転圧機械と同等以上の締固め効果を持つタイヤローラやトラック等の荷重車でプルフローリングを行い、監督員の確認を受けなければならない。</u>たわみ量により十分な路床支持力が得られないと判断された場合は、監督員の指示により適切に処置しなければならない。なお、歩道、路肩及び取付坂路等のブルーフローリングは、監督員の承諾を得て省略することができるものとする。</p>
P. 300 1-12-3 桁製作工	<p>(6) 材片の組合わせ精度 受注者は、材片の組合わせ精度を、継手部の応力伝達が円滑で、かつ、継手性能が確保されるものに行なければならない。材片の組合わせ精度は下記の値とするものとする。 <u>受注者は、あらかじめ確認方法及び頻度等について監督員と協議のうえ、材片の組合せ精度について確認し、記録しなければならない。</u> ただし、施工試験によって誤差の許容量が確認された場合は、設計図書に関して監督員の承諾を得たうえで下記の値以上とすることができるものとする。</p>	<p>(6) 材片の組合わせ精度 受注者は、材片の組合わせ精度を、継手部の応力伝達が円滑で、かつ、継手性能が確保されるものに行なければならない。材片の組合わせ精度は下記の値とするものとする。 ただし、施工試験によって誤差の許容量が確認された場合は、設計図書に関して監督員の承諾を得たうえで下記の値以上とすることができるものとする。</p>
P. 309-310 1-12-3 桁製作工	<p>2. ボルトナット (2) ボルト孔の径の許容差は、表1-58に示すとおりとする。 <u>受注者は、あらかじめ確認方法及び頻度等について監督員と協議のうえ、許容差について確認し、記録しなければならない。</u> ただし、摩擦接合の場合は1ボルト群の20%に対しては+1.0mmまで良いとする。 (3) 仮組立て時のボルト孔の精度 ① 受注者は、支圧接合を行う材片を組合わせた場合、孔のずれは0.5mm以下にしなければならない。 ② 受注者は、ボルト孔において貫通ゲージの貫通率及び停止ゲージの停止率を、表1-59のとおりに行なければならない。 <u>受注者は、あらかじめ確認方法及び頻度等について監督員と協議のうえ、貫通率及び停止率について確認し、記録しなければならない。</u></p>	<p>2. ボルトナット (2) ボルト孔の径の許容差は、表1-58に示すとおりとする。 ただし、摩擦接合の場合は1ボルト群の20%に対しては+1.0mmまで良いとする。 (3) 仮組立て時のボルト孔の精度 ① 受注者は、支圧接合を行う材片を組合わせた場合、孔のずれは0.5mm以下にしなければならない。 ② 受注者は、ボルト孔において貫通ゲージの貫通率及び停止ゲージの停止率を、表1-59のとおりに行なければならない。</p>

頁	新（令和2年4月1日一部改正）	旧（令和元年10月1日）
<p>P.355 1-11-4 落石防止網工</p>	<p>1-11-4 落石防止網工 1. 受注者は、落石防止網工の施工については、アンカーピンの打込みが岩盤で不可能な場合は監督員と協議しなければならない。 2. 受注者は、現地の状況により、設計図書に示された設置方法によりがたい場合は、監督員と協議しなければならない。 <u>3. 受注者は、金網の重ね合わせ幅について監督員と協議しなければならない。</u></p> <p>1-11-5 落石防護柵工 1. 受注者は、落石防護柵工の支柱基礎の施工については、周辺の地盤をゆるめることなく、かつ、滑動しないよう定着しなければならない。 2. 受注者は、ワイヤロープ及び金網の設置にあたっては、初期張力を与えたワイヤロープにゆるみがないように施工し、金網を設置しなければならない。 <u>3. 受注者は、金網の重ね合わせ幅について監督員と協議しなければならない。</u> <u>4. 受注者は、H鋼式の緩衝材設置にあたっては、設計図書に基づき設置しなければならない。</u></p>	<p>1-11-4 落石防止網工 1. 受注者は、落石防止網工の施工については、アンカーピンの打込みが岩盤で不可能な場合は監督員と協議しなければならない。 2. 受注者は、現地の状況により、設計図書に示された設置方法によりがたい場合は、監督員と協議しなければならない。</p> <hr/> <p>1-11-5 落石防護柵工 1. 受注者は、落石防護柵工の支柱基礎の施工については、周辺の地盤をゆるめることなく、かつ、滑動しないよう定着しなければならない。 2. 受注者は、ワイヤロープ及び金網の設置にあたっては、初期張力を与えたワイヤロープにゆるみがないように施工し、金網を設置しなければならない。</p> <hr/> <p><u>3. 受注者は、H鋼式の緩衝材設置にあたっては、設計図書に基づき設置しなければならない。</u></p>

土木工事共通仕様書（令和2年4月1日）新旧対照表

頁	新（令和2年4月1日一部改正）	旧（令和元年10月1日）
<p>土木工事編Ⅱ 土木工事施工管理基準及び規格値</p>		
<p>P. 78-79 3-1-6-7-1 アスファルト舗装工 (下層路盤工)</p>	<p>測定箇所 ～～（略）～～ <u>厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</u></p>	<p>～～（略）～～</p>
<p>P. 80-81 3-1-6-7-2 アスファルト舗装工 (上層路盤工)</p>	<p>～～（略）～～</p>	<p>～～（略）～～</p>
<p>P. 82-83 3-1-6-7-3 アスファルト舗装工 (上層路盤工) セメント（石灰） 安定処理工</p>		
<p>P. 84-85 3-1-6-7-4 アスファルト舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)</p>		
<p>P. 86-87 3-1-6-7-5 アスファルト舗装工 (基層工)</p>		
<p>P. 88-89 3-1-6-7-6 アスファルト舗装工 (表層工)</p>		
<p>P. 90-91 3-1-6-8-1 半たわみ性舗装工 (下層路盤工)</p>		
<p>P. 92-93 3-1-6-8-2 半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工</p>		
<p>P. 94-95 3-1-6-8-3 半たわみ性舗装工 (上層路盤工) セメント（石灰） 安定処理工</p>		
<p>P. 96-97 3-1-6-8-4 半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)</p>		

土木工事共通仕様書（令和2年4月1日）新旧対照表

頁	新（令和2年4月1日一部改正）	旧（令和元年10月1日）
P. 98-99	測定箇所	
3-1-6-8-5 半たわみ性舗装工 （基層工）	～～（略）～～ <u>厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</u>	～～（略）～～
P. 100-101	～～（略）～～	～～（略）～～
3-1-6-8-6 半たわみ性舗装工 （表層工）		
P. 102-103		
3-1-6-9-1 排水性舗装工 （下層路盤工）		
P. 104-105		
3-1-6-9-2 排水性舗装工 （上層路盤工） 粒度調整路盤工		
P. 106-107		
3-1-6-9-3 排水性舗装工 （上層路盤工） セメント（石灰） 安定処理工		
P. 108-109		
3-1-6-9-4 排水性舗装工 （加熱アスファルト 安定処理工）		
P. 110-111		
3-1-6-9-5 排水性舗装工 （基層工）		
P. 112-113		
3-1-6-9-6 排水性舗装工 （表層工）		
P. 114-115		
3-1-6-10-1 透水性舗装工 （路盤工）		
P. 116-117		
3-1-6-10-1 透水性舗装工 （表層工）		
P. 118-119		
3-1-6-11-1 グースアスファルト 舗装工 （加熱アスファルト 安定処理工）		

土木工事共通仕様書（令和2年4月1日）新旧対照表

頁	新（令和2年4月1日一部改正）	旧（令和元年10月1日）
<p>P. 120-121 3-1-6-11-2 グースアスファルト 舗装工 (基層工)</p> <p>P. 122-123 3-1-6-11-3 グースアスファルト 舗装工 (表層工)</p>	<p>測定箇所 ～～（略）～～ <u>厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</u> ～～（略）～～</p>	<p>～～（略）～～ ～～（略）～～</p>
<p>P. 152-153 3-1-6-15 路面切削工</p>	<p>測定基準 厚さは40m毎に現舗装高切削後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 幅は、延長<u>80m</u>毎に1ヶ所の割とし、延長<u>80m</u>未満の場合は、 2ヶ所／施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。 測定方法は自動横断測定法によることが出来る。</p>	<p>厚さは40m毎に現舗装高切削後の基準高の差で算出する。 測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 幅は、延長<u>40m</u>毎に1ヶ所の割とし、延長<u>40m</u>未満の場合は、 2ヶ所／施工箇所とする。 断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。 測定方法は自動横断測定法によることが出来る。</p>
<p>土木工事編Ⅱ 品質管理基準及び規格値</p>		
<p>P. 300-301 1 セメント・コンクリート 塩化物総量規制</p>	<p>試験基準 <u>荷卸し時</u>、コンクリートの打設が午前と午後にもた がる場合は、<u>1日につき2回以上（午前・午後各1 回以上）行う。</u>午前の試験結果が、塩化物総量の規 制値1/2以下の場合、午後の試験を省略することが できる。（1試験の測定回数は3回とする）試験の判 定は3回の測定値の平均値。</p>	<p>コンクリートの打設が午前と午後にもた がる場合は、<u>午前に1回コンクリート打設前に行い その試験結果が、塩化物総量の規制値1/2以下の場合、</u> 午後の試験を省略することができる。（1試験 の測定回数は3回とする）試験の判定は3回の測定 値の平均値。</p>
<p>単位水量測定</p>	<p>試験基準 <u>荷卸し時</u>、<u>圧縮強度試験用供試体採取時及び荷下ろ し時に品質変化が認められた時。</u></p> <p>摘要 (1)～(6) ～～（略）～～ <u>※上記構造物に付帯する基礎工を含むものとする。</u></p>	<p>試験基準 <u>2回／日（午前1回、午後1回）、および荷卸し時 に品質変化が認められたとき。</u></p> <p>摘要 (1)～(6) ～～（略）～～</p>
<p>P. 302-303 1 セメント・コンクリート コンクリートの圧縮強度試験</p>	<p>摘要 以下の構造物～～（略）～～ (1)～(6) ～～（略）～～ <u>※上記構造物に付帯する基礎工を含むものとする。</u></p>	<p>摘要 以下の構造物～～（略）～～ (1)～(6) ～～（略）～～</p>

土木工事共通仕様書（令和2年4月1日）新旧対照表

頁	新（令和2年4月1日一部改正）	旧（令和元年10月1日）																				
<p>P. 354 1 7 アンカー工 適正試験(多サイクル確認試験)</p> <p>P. 408-409、P410-411 3 3 溶接工 引張試験：開先溶接 型曲げ試験（19mm 未満裏曲げ） （19mm 以上側曲げ）：開先溶接 衝撃試験：開先溶接 マクロ試験：開先溶接 非破壊試験：開先溶接 マクロ試験：すみ肉溶接 引張試験：スタッド溶接 曲げ試験：スタッド溶接</p> <p>土木工事編Ⅱ 写真管理基準（品質管理）</p> <p>P. 432 8 アスファルト舗装 （舗設現場）</p> <p>写真管理基準（出来形管理）</p> <p>P. 477 4-2-4 歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工</p>	<p>試験方法 グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説 (JGS4101-2012)</p> <p>摘要 ・～～（略）～～ ・<u>桁製作工において、第3編1-12-3 1(4)溶接施工試験①1～6)のいずれにも該当しない場合は、試験不要とする。</u> ・～～（略）～～</p> <p>撮影頻度 <u>試験を実施した</u>合材の種類毎に1回 [試験実施中]</p>	<p>グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説 (JGS4101-2000)</p> <p>・～～（略）～～ ~~~~~ ~~~~~ ~~~~~ ・～～（略）～～</p> <p>~~~~~合材の種類毎に1回 [試験実施中]</p>																				
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="555 1421 839 1497">歩道舗装工</td> <td data-bbox="839 1421 1121 1497">整正状況</td> <td data-bbox="1121 1421 1403 1497">400mに1回 [整正後]</td> <td data-bbox="1403 1421 1685 1497" rowspan="3">代表箇所 各1枚</td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 1497 839 1581">取合舗装工 路肩舗装工</td> <td data-bbox="839 1497 1121 1581">タックコート、 プライムコート</td> <td data-bbox="1121 1497 1403 1581">各層毎に1回 [散布時]</td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 1581 839 1665">~~~~~</td> <td data-bbox="839 1581 1121 1665">~~~~~</td> <td data-bbox="1121 1581 1403 1665">~~~~~</td> </tr> </table>	歩道舗装工	整正状況	400mに1回 [整正後]	代表箇所 各1枚	取合舗装工 路肩舗装工	タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 [散布時]	~~~~~	~~~~~	~~~~~	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1703 1421 1988 1497">歩道舗装工</td> <td data-bbox="1988 1421 2270 1497">整正状況</td> <td data-bbox="2270 1421 2552 1497">400mに1回 [整正後]</td> <td data-bbox="2552 1421 2834 1497" rowspan="3">代表箇所 各1枚</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1703 1497 1988 1581">取合舗装工 路肩舗装工</td> <td data-bbox="1988 1497 2270 1581">タックコート、 プライムコート</td> <td data-bbox="2270 1497 2552 1581">各層毎に1回 [散布時]</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1703 1581 1988 1665"><u>表層工</u></td> <td data-bbox="1988 1581 2270 1665">平坦性</td> <td data-bbox="2270 1581 2552 1665">1工事1回 [実施中]</td> </tr> </table>	歩道舗装工	整正状況	400mに1回 [整正後]	代表箇所 各1枚	取合舗装工 路肩舗装工	タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 [散布時]	<u>表層工</u>	平坦性	1工事1回 [実施中]
歩道舗装工	整正状況	400mに1回 [整正後]	代表箇所 各1枚																			
取合舗装工 路肩舗装工	タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 [散布時]																				
~~~~~	~~~~~	~~~~~																				
歩道舗装工	整正状況	400mに1回 [整正後]	代表箇所 各1枚																			
取合舗装工 路肩舗装工	タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 [散布時]																				
<u>表層工</u>	平坦性	1工事1回 [実施中]																				